



諫高だより

ふじ
藤 紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

『 三冠を目指そう 』

校長 石部 邦昭

「諫高で培われた」もの

本校は今年、記念すべき創立100周年を迎える。この間、幾多の変遷・風雪に耐えながら、一貫して「志」の教育を推進し、人材を輩出してきた。この間に諫高で培われたものとは、何だろうか。

それは諫高生の「人間性」である。現役の在校生はもとより私が会った多くの同窓生に共通しているのは、「派手さはないが、人が良く真面目で、粘り強く努力する」ということである。地域の気風とも合わさっているとも思うが、粘り強く努力する姿勢は、賞賛に値する。

また、多くの人々が故郷（ふるさと）が大好きで、故郷の未来に期待を寄せ、発展を念じている。よって、私は、本校の教育の根幹を、「郷土を愛し気骨のある粘り強い有為な人材を育成すること」としている。

今なぜ「文武両道」なのか

さて、本校の校是は「文武両道」である。諫高生のほぼ全員がこれに挑戦している。

高校生の本文は紛れもなく「学習」にある。とりわけ、将来の進路希望を高く掲げる諫高生の軸足は学習にあるべきだ。しかし、本校では、学習と同じように部活動が奨励され、放課後や休日の大半を部活動に励んでいる。部活動と学習、現実には厳しい道であるが諫高生はひたむきに努力している。では、なぜ両立を求めるのか。それは、諫高生が可能性を無限に有する成長途上の存在であることによる。社会が大きく変化する中で、求められる人材にも変化が生じている。これまでよりも高度で専門性の高い人材、コミュニケーション能力や自己表現力が必要となっており、精神的・肉体的に耐性のない人は企業から敬遠されている。俗に言う「知・徳・体」のバランスのとれた人材が、今、将に求められている。それをトータルで補うのが、学習であり部活動なのだ。だから、文武両道が必要なのだ。しかし、文武両道の最終的な到達地点はこうした生きる力の習得だけではない。

「文武両道」の最終到達目標とは

去る1月16日（日）、本校3年生はセンター試験2日目を迎えた。前日からの記録的な寒波のもと、集中を欠くことなく取り組み、試験の全日程を終えた文系の生徒は、化学受験の理系生徒を待たため、大学の「中部講堂」で自学自習をしていた。そんな折り、本校女子生徒数名が突然、講堂のトイレ掃除を始めた。その輪は他の諫高生に広がり、瞬く間にきれいにしてしまった。会場にお世話になったから自然と思いついたのだという。私はこのことを聞いて、『諫高生おそるべし。彼女らはトイレを磨いたのではなく、心を磨いたのだ。』と思った。また、こうした心を磨く場は、本校が推し進めている「文武両道」、「師弟同行」の延長にしかないと私は確信した。

高校三冠を目指そう！

本年初の職員会議で、私は先生方に三冠を目指そうと提案した。三冠とは進学実績やテスト結果などの「学力」、試合結果などからみる「部活動」の総合成績、そして「人間性」である。私は、中でも「人間性」において県下でいや九州でナンバーワンといわれる学校を目指していきたい。そのためには、学習においても部活動においても全力で向かわなければならない。適当に取り組んでも成果は上がらない。厳しさを知って、挫折を経験して初めて人間は頭を下げることで、謙虚になる大切さを知る。周囲の思いやり、人に支えられて生きることによって「感謝」の念を抱くようになる。諫高生に求める三冠とは、今、将に時代が求めていることなのだ。



「武（部）」の象徴
2010 全国高校駅伝
2区 森選手の快走



「文」の象徴 センター試験
肩を組み「チーム諫高」を確認

2010 全国高校駅伝競走大会 (12/26 西京極陸上競技場)



松元 ゴール前の力走

男子27位 女子11位
(昨年16位) (昨年6位入賞)

感謝と絆



スタート直後の三原

男子成績(2時間9分15秒)

区間	氏名	区間順位	時間	通過順位
1区(10km)	的野 遼大 (3年)	5位	29分52秒	5位
2区(3km)	宇戸 勇人 (3年)	18位	8分36秒	9位
3区(8.1km)	林 慎吾 (3年)	16位	24分31秒	13位
4区(8.1km)	相浦 亮 (2年)	32位	25分09秒	18位
5区(3km)	山口 有輝 (1年)	44位	9分30秒	21位
6区(5km)	瀬川 大貴 (2年)	22位	15分34秒	21位
7区(5km)	松元悠太郎 (1年)	46位	16分03秒	27位



3年の野、花の一区で好走。将来への期待膨らむ。



最終5区山崎力走

女子成績(1時間10分05秒)

区間	氏名	区間順位	時間	通過順位
1区(6km)	三原 志穂 (2年)	18位	20分08秒	18位
2区(4.1km)	森 智香子 (3年)	9位	13分08秒	14位
3区(3km)	山本 芽依 (2年)	12位	10分12秒	14位
4区(3km)	鋏取 舞 (1年)	7位	9分54秒	12位
5区(5km)	山崎 唯 (3年)	11位	16分43秒	11位

高校駅伝2010ハイライトphoto

同窓会、県人会一体となった西京極での応援



12月26日(日)に京都市西京極陸上競技場で行われた全国高等学校駅伝競走大会では、男子27位・女子11位と昨年の成績(男子16位・女子6位入賞)には及ばなかったものの、「感謝と絆」の旗印のもと、伝統の粘りの走りを見せ、生徒・保護者はもとより多くの市民、県民に感動を与えました。

中でも、女子のアンカー山崎さんが見せた、大声援の本校応援団の前で1人を抜く果敢なラストスパート、男子主將的野君が花の1区で見せたエース級走者の中での見事な競い合いは見応えがありました。応援席も団長の涙の挨拶に象徴されるように、藤紫の団旗のもと同窓会、県人会、駅伝部保護者会など一丸となって素晴らしい盛り上がりを見せました。

明けて1月に開催された都道府県対抗女子駅伝では、女子で2区を走った森さんが、実業団選手も含む中で区間2位と雪辱を果たしチームは5位入賞、同男子駅伝では高校生を主とする1区での的野君が区間賞と1秒差の3位の走りを見せ、4区林君も区間7位と好走し、6位入賞の原動力となりました。

2学年修学旅行

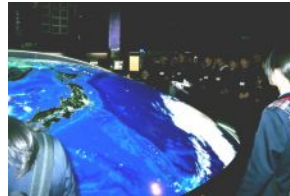
平成22年12月8日(水)～12日(日)第2学年生徒318名は4泊5日の修学旅行に出かけました。「故きを温ねて新しきを知る」の言葉のとおり、現代文化の象徴である首都東京、さらに最先端科学の拠点つくば市と、我が国伝統文化の集積する古都京都、奈良の比較を試みる研修でした。初日は理数科がつくば市、普通科が東京都での研究所・企業研修と、別行動でしたが、2日目の東京ディズニーランドから合流し、楽しさの中にも「知」の薫りのする素晴らしい修学旅行となりました。5日間すべての乗り物バス、航空機、電車、新幹線、フェリーを「制覇」し、天候にも恵まれ、充実した研修となりました。



初めて?!の飛行機



東京研修(UNICEF)



つくば研修(JAXA)



東京Disney Land(day)



東京Disney Land(night)



新幹線車内



清水寺



京都夕食スキヤキ



奈良公園



東大寺二月堂



薬師寺法話



解団式での校歌斉唱

続々と諫高生世界へ、全国へ

- 陸上部 第46回 千葉国際クロスカントリー大会(2/13) 的野遼大・森智香子
 第25回 福岡国際クロスカントリー大会(2/26) 的野遼大・森智香子
 第11回 アジアクロスカントリー大会(カトマンス 2/20) 森智香子

第2学年保護者会

12月2日(木)、諫早文化会館において、第2学年の保護者会を開催しました。

全体会での講演Ⅰは、「インターネット犯罪から子供を守るために」というテーマで県警本部サーバー犯罪対策室藤原敏昭先生から、講演Ⅱは「大学受験生の親としてやるべきこと」というテーマで河合塾福岡校の泰利勝先生からご講演いただきました。2つとも身近な話題で、聴き応えのある講演でした。

何より素晴らしかったのは平日開催にもかかわらず、8割近くの保護者の皆様にご出席いただいたことです。環境の変化や生徒並びに学校の状況を理解していただいたものと思います。今後ともよろしくお願ひします。



ネット犯罪講演

第2学期終業式 Surprise



吹奏楽部木管3重奏



町田先生と床井さん

12月24日(金)、本校は2学期終業式を迎えた。当日世間はクリスマスイブである。

そこで今回は石部校長から粋なプレゼントが贈られた。九州アンサンブルコンテストに出場する吹奏楽部3人の演奏と、九州高校ピアノコンクールで金賞を受賞した床井里帆さんと本校が誇るテノール歌手町田正純先生とのコラボ演奏である。

ステキな音楽の贈り物に全校生徒は魅了され、しばし寒さも忘れられました。

センター試験激励会

1月14日(金)、センター試験に挑む3年生(63回生)に対して、全校生徒によるセンター試験激励会が開催されました。



63回生を鼓舞する石部校長



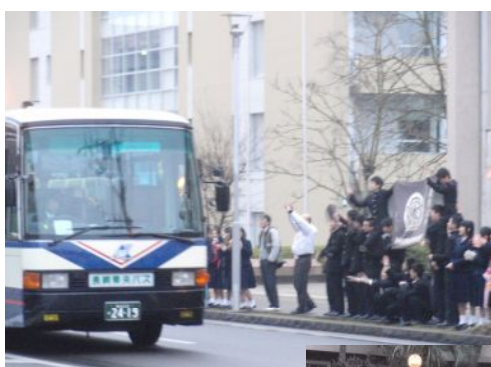
龍馬の句で士気を高める長池学年主任



野球部の「ドラゴンボール」と3年生の「滑らないコント」



大学入試センター試験 BLUEBIRDS vs 冬将軍



「師弟同行」
試験前のわずかな時間も先生のもとに(写真右)



3年生のセンター試験出陣 恒例となった1、2年生総出の見送り光景

1月15日(土)、63回生303名は、後輩に見送られセンター試験の会場である長崎大学にバス8台で出発しました。当日はセンター試験史上まれにみる寒波の到来! 『万難を排し、試験に万全を期する』ため、チーム諫高は、急きょホテル宿泊に切り替えた。冬将軍も見事打倒し、無事にセンター試験を終えることができた。

諫早高校附属中学校本格始動 4月8日開校式

県立中学校入学者選抜(1/9) 校舎竣工間近



附属中学校入試は定員120人に対して志願者460人で3.8倍の狭き門になりました。志願した小学6年生が懸命に適性問題を解き、作文を書き、面接検査に挑んでいました。今春4月、満を持して附属中学校の開校を迎えます。



附属中学校舎(全景) 時計塔と校舎(夕刻)

おもな学校行事

2月

- 2/1(火) 推薦入学者選抜(午後)
- 2/3(木) 2年理科教科校内発表会
- 2/5(土) 1年・2年対外実力試験
- 2/9(水) 百周年記念校内マラソン大会
- 2/22(火) 1年・2年学年末考査(~28)
- 2/25(金) 国公立大個別学力試験(~26)
- 2/28(月) 卒業式予行・同窓会入会式

3月

- 3/1(火) 第63回卒業式
- 3/5(土) 2年対外実力試験
- 3/15(火) クラスマッチ
- 3/16(水) 生徒総会
高校入学者選抜合格発表
- 3/20(日) 文化部合同祭
- 3/24(木) 終業式・離任式

4月(予定)

- 4/6(水) 入学予定者登校日(中・高)
- 4/8(金) 始業式・開校式・合同入学式
- 4/11(月) 新入生テスト・校内実力(2・3年)
- 4/12(火) 校内実力(3年)
- 4/13(水) 新入生宿泊研修(~4/15)
- 4/15(金) 遠足(2年・3年)
- 4/22(金) 理数科対面式